

○国営公園内での高木等伐採工事における労働災害防止の取組事例を紹介します

<熱中症対策>

①補給用ドリンク類の備蓄



②熱中症応急キットの配備



③空調服の着用



④ウェアラブルサービス時計型の着用



暑熱作業リスクを予測するウェアラブルサービス(Smartfit for work)



上記の図についてはNETISのHPより引用しています（NETIS登録番号：KT-240113-A）

- 生体情報（体温、心拍など）をリアルタイムで測定しクラウドサーバーに送信
- 気象情報などを融合した解析アルゴリズムにより、暑熱作業リスクを通知
- 蓄積された生体情報から自動学習(AI)機能により、個人毎の「平常範囲」の基準値を生成し、日々の体調変化もアラート通知
- 通知内容は現場監督者等に共有される

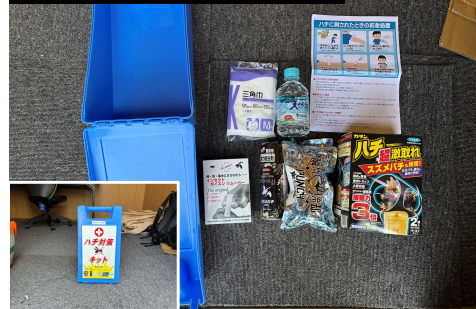
⇒現地作業員に着用させることで、
熱中症予防及び初期症状での現場救急に寄与

<ハチ対策>

①ハチ避けスプレーの配備

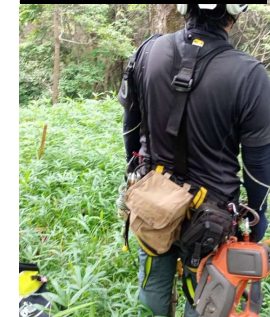


②ハチ対策キットの配備



（参考：樹上作業者の熱中症対策）

樹上作業者装備



- 樹上作業時には、空調服や時計などを着用させていない
(墜落事故対策優先)

⇒従来通り、**現場監督者**
による小まめな声かけに
より健康状況を把握